

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第32号



二十歳頃から「しんぶん赤旗」日刊紙を愛読しています。読めば読むほど味わい深くやめられなくなるスルメのような魅力が。ボリュームも丁度よく、何といても日々展開される社会問題の本質にズバッと切り込む内容が魅力。一般紙のお供に、ご購入をオススメします。

本授業は終わりに「誇りシト」を記入し、終了します。(実話)



漫画：安藤たい作

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。

「靖国DVD使わないで」 教育委員会に申し入れを行いました

日本共産党品川区議団は、歴史の事実をゆがめる日本青年会議所資料を教材としないことを求める申し入れを品川区教育長あてに行いました。当日は教育委員会事務局の教育次長と庶務課長が対応し、党地区委員会から沢田前区議も参加しました。

「侵略戦争」正当化する靖国DVD

「靖国DVD」をご存知でしょうか。靖国神社の主張と同じく、日本が過去に行った侵略戦争を「自存自衛」「アジア解放」のためのものだったと正当化。そういう内容を中学生も入っていきやすいように物語仕立ての30分のアニメーション映像にしたものです。日本青年会議所が作成し、これを教材にした教育事業が文科省の委託事業「新教育プログラム」に採用され、全国の学校で使われはじめ問題になっていきます。

「基本的には使わない」と区教委

申し入れの内容は、①本教材を使った授業が区内で行われているかの実態調査の実施②本教材を公共の場で使用させない③同趣旨の講演会などについて区

る、の四点です。区は「今の段階では区内での教材が持ち込まれていることは一切ない」「(非核平和都市品川宣言など)今までの平和教育の流れでは、使用しない」「品川の教育プログラムに靖国問題は入っていないので、そういう話があったら基本的にはお断りする」と述べ、教育長には今日の申し入れの内容を伝える、との回答でした。

事実上黙認の教育行政はあまりに無責任

「私達が次世代に託すべき日本の素晴らしき歴史をこのプログラムを通して伝える」事を趣旨とし、文字通りあの戦争を「素晴らしき歴史」と教える本教材。「私達が認定したのはプログラム全体の事で教材のアニメは審査対象外だった」と言い逃れ、使われるがままに放置しているのが文科省です。区教委も「(認定は)全く別の機関で行われている。撤回や抗議という性質のものではない」とこの文科省の姿勢を容認しています。しかし21世紀に生きる子どもたちにこのような歪んだ歴史観を教えれば、世界で孤立する道を歩ませることは間違いありません。断固阻止するのは公教育に携わるものの責任です。